

大阪・関西万博パビリオンを活用したワークショップの実施について

高校生万博チーム 濱元 陽愛

経緯

- 中学校の授業でゴミ問題について学び、興味をもった
- お菓子のパッケージの柄を活かしたハンカチなど、グッズを見つけた
- 本物のパッケージでも作れるのでは？ と思いインターネットで調べた。



※イメージ

目的

- 「ゴミ削減」と堅く考えずに、捨てられるパッケージからポーチを作る
- 新たなモノを作る過程を通じて「楽しい」と感じて欲しい
- 「かわいい！ほしい！」という思いでポーチなどを購入して欲しい
- 明るく楽しく環境問題を解決できると思う。
- ゴミを出す人を悪者にしない



実施内容

<日時> 令和7年7月29日（火曜日）終日

<場所> 大阪・関西万博パビリオン ギャラリーEAST

<内容> お菓子のパッケージを用いた「名刺」制作ワークショップ（対象者：来場者）

お菓子のパッケージを用いた「ポーチ」等の展示と販売



名刺制作の目的

- 名刺交換時に、自然とコミュニケーションが取れるから。
⇒お菓子のパッケージを活用した名刺にすることで、インパクトがあり自然と会話が生まれる
「なぜ名刺にお菓子のパッケージを再利用しているの？」など
「環境にやさしいことをできることからやっていることを知って欲しい」
- 制作の面ではハサミを使わずに、使うパーツなどの組み合わせで自由にそれぞれの個性や好みをだせる



貴社にお願いする理由

- 万博が開催される大阪に本社がある会社
- 環境課題に対する目標として資源循環と廃棄物削減を目標としている
- パッケージにフレンドリーなイメージがあり、PRETZ、POCKYなど世界的に有名だと思ったから